

第2学年 道徳学習指導案

2年 23名
指導者 佃 美恵子

1 主題名 思いやり

2 主題設定の理由

<ねらいとする価値について>

2 - (2)	幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。
---------	--------------------------------

よりよい人間関係を築くには、相手に対する思いやりが不可欠である。思いやり・親切とは、その人の身になって考え、何かをしたり、優しく対応したりして、その人の力になろうとする純粋な行為であると考えられる。

低学年においては、身近にいる幼い人や高齢者等との触れ合いの中で、相手のことを考え、優しく接し、親切な行為ができるようにすることが求められる。また、親切にした方もされた方も互いに温かい気持ちになり、人間関係をよりよく和やかにしていけることに気付き、進んで回りの人に親切にしようとする心情を育てたい。

<子どもの実態について>

本学級の子どもたちは、困っている友達に対して優しく接したり、忘れ物をした友達に自分の物を貸したり、だんだんと相手のことを考えた行動ができるようになってきている。しかし、まだ幼児期の自己中心性が残っており、時によっては、相手の立場を思いやれず、自分の考えを相手に押しつけてトラブルを起こすことがある。また、困っている人がいても、どう接してよいか分からず親切にできないでいることもある。そこで、温かい心で接することの大切さを感じ取り、思いやりの気持ちをもって、親切にしようとする心情を育てたい。

<教材について>

教材名：くりのみ（県副読本 どうとく 2年）

本資料は、寒風の中、食べ物を探しに行ったうさぎときつねの話である。たくさん見つけたどんぐりを腹一杯食べ、残りは隠したうえで、「なんにも、見つかりませんでした。」と嘘をつくきつねの自己中心的な行為と、やっと二つだけ見つけた栗の実を一つ差し出すうさぎの親切な行為が対照的にえがかれている。そこで、「うさぎは、しばらく考えました。」というところに焦点を当て、迷いを克服して栗の実を差し出したうさぎの心や、たった二つしかない栗の実を出されて、自分の行為の過ちに気付き、涙を流すきつねの心に共感させたい。また、相手のことを思いやるうさぎの心情に触れ、自らもそうありたいと願う心を育てたい。

3 道徳の時間の指導の工夫

うさぎが、「それは、お気の毒ですね。」と言ってしばらく考えているときの心の中を葛藤劇にし、うさぎの迷いや思いを共感的にとらえさせたい。また、自分の行為の過ちに気付き涙を流すきつねの心にも共感させることで、相手を思いやるうさぎのやさしさや温かい心に触れ、相手の気持ちを考えて親切にしようとする心情を育てたい。（展開 A ーア (ii)）

4 ねらい

人が困っているときには、その人の立場に立って、温かい心でいたわり、親切にしようとする心情を育てる。

5 展開

学習活動	主な発問と予想される子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 真冬の野山の景色を見て、感想を発表する。</p> <p>2 資料「くりのみ」を読み、きつねやうさぎの気持ちを話し合う。</p>	<p>○この写真を見て、どんな感じがしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒そうだ。 ・木の葉っぱもなくさびしそう。 ・風がきつそう。 <p>○「くりのみ」を読んで、どんなことを思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎは、やさしい。 ・きつねは、欲張りだ。 <p>○どんぐりをたくさん見つけたとき、きつねは、どんな気持ちがしたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しめしめ、たくさんあるぞ。 ・うれしいな。隠しておいてまた食べに来よう。 <p>○やっとう栗の実を二つ見つけたとき、うさぎは、どんな気持ちがしたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つしかないから、大事にしよう。 ・やっと思つかった。家に帰って、少しずつ食べよう。 <p>○「それは、おきのどくですね。」と言った後、うさぎは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっと思つけたのに、あげるのはいやだ。 ・どうしようかな。きつねさんかわいそうだな。一つあげようかな。 ・たった二つしかないのに、困ったなあ。 <p>○きつねは、どうして涙を流したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たった二つしかないのに、ありがとう。 ・嘘をついてはずかしい、ごめんね。 	<p>○資料にえがかれている情景を想像させる。</p> <p>○厳しい状況であるだけに、自分だけのものにしたいと思うきつねの心情に共感できるようにする。</p> <p>○やっと思つた栗の実であり、貴重なものであることをしっかりとらえさせる。</p> <p>○役割演技を通して、うさぎの葛藤する心を共感的にとらえさせる。</p> <p>○うさぎの優しい心に触れて後悔するきつねの涙から、親切にすることの大切さに気付かせる。</p>
<p>3 自分の生活を振り返る。</p>	<p>○今までに、だれかに親切にできてよかったことや、親切にされてうれしかったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをした友達を保健室につれて行ってあげたら、喜んでくれた。 ・算数で分からなくて困っていると、優しく教えてくれてうれしかった。 	<p>○これまでの自分の生活を振り返り、自分や自分の周りの人たちの思いやりの行動に気づき、親切にすることの大切さについて感じ取らせる。</p>
<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>○人に親切にできて、よかったと思った経験を話す。</p>	<p>○実践への意欲がもてるようにする。</p>

6 評価

- ・友達との話合いの中で、うさぎやきつねの心情に共感しながら話すことができたか。
- ・自分や自分の周りの人たちの思いやりの行動に気づき、親切にすることの大切さについて考え、進んで実践しようとする心情が高められたか。